

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第2学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
C-1-1 エネルギー変換の技術とは何だろう	1	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。 ・エネルギー変換効率について知る。	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。		・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。 ※「主体的に学習に取り組む態度」は、複数の学習内容にまたがる長期的な評価規準となる。
C-1-2 発電の仕組みと特徴	1	・発電の仕組みと特徴についてまとめる。 ・さまざまな発電方法のプラス面、マイナス面について調べ、適切な発電構成割合について自分なりに考える。	・発電の仕組みと特徴について理解している。	・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。	
C-1-3 電気を供給する仕組み	1	・電源の種類と特徴についてまとめる。 ・送電・配電について調べる。	・電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。	・送電・配電の技術の工夫について考えている。	
C-1-4 電気回路について考えよう	1	・電気エネルギーを利用する仕組みを調べる。 ・電気回路について、電気用図記号を用いた回路図で表す。	・電気回路の仕組みについて理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。		
C-1-5 電気機器を安全に使用するための技術	1	・電気を安全に使うための技術の工夫について調べ、まとめる。 ・電気機器の安全な使い方について考える。	・電気機器の安全な使い方について理解している。	・電気による事故を防ぐ方法について考えている。	
C-1-6 運動エネルギーへの変換と利用	1	・機械が運動を伝える仕組みについて調べる。 ・機械の運動の種類とエネルギー変換についてまとめる。	・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 ・運動の種類とエネルギー変換について理解している。		
C-1-7 回転運動を伝える仕組み	1	・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を調べる。 ・回転速度と回転力の関係を調べる。	・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。		
C-1-8 機械が動く仕組み	1	・往復直線運動や揺動運動などを伝えるリンク装置やカム装置の仕組みを調べる。 ・流体を用いて動く機械や熱エネルギーで動く機械を調べる。	・リンク機構やカム機構について理解している。		
C-1-9 機械の共通部品と保守点検の大切さ	1	・機械の共通部品について知る。 ・機械を安全に利用するために保守点検が必要であることを知る。 ・身近な機械の保守点検をする。	・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。		
C-1-10 エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	1	・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近な製品の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。		・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる	
C-2-1 問題を発見し、課題を設定しよう	1	・生活や社会における光、熱、動力などのエネルギー変換の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。		・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
C-2-2 電気回路を設計・製作しよう	3	・安全に配慮し、電気回路を用いた製作品の設計、製作、実装、点検・調整を行う。	・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。	・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。	
C-2-4 問題解決の評価、改善・修正	1	・エネルギー変換の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。		・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。

C-3-1 エネルギー変換の技術の最適化	1	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 ・エネルギー変換の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。	・エネルギー変換の技術の概念について理解している。	・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
C-3-2 これからのエネルギー変換の技術	1	・持続可能な社会の構築のために、これからのエネルギー変換の技術について考える。		・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	
B-1-1 生物育成の技術とは何だろう	1	・生物育成の技術の目的を知る。 ・生物育成の技術についてまとめる。 ・地域の特産物を調べ、どのような技術が用いられているか調べ、まとめる。	・生物を育てる技術の目的について理解している。		・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ※「主体的に学習に取り組む態度」は、複数の学習内容にまたがる長期的な評価規準となる。
B-1-2 作物の育成環境を調節する技術	1	・作物の育成環境を調節する技術について調べる。 ・スプラウトの育成を行い、育成環境を調節する技術を体験する。	・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・育成環境を工夫してスプラウトを育成することができる技能を身に付けている。		
B-1-3 作物の成長を管理する技術	1	・作物の成長を管理する技術について調べる。 ・作物の成長を管理する技術とその目的についてまとめる。	・作物の成長を管理する技術について理解している。		
B-1-4 動物を育てる技術	1	・人と動物との関わりについて知る。 ・家畜としての動物の利用方法を調べる。 ・動物を健康に育てるための技術を調べる。	・人と動物との関わりと動物を健康に育てるための技術について理解している。		
B-1-5 水産生物を育てる技術	1	・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について知る。 ・水産生物を健康に育てるための技術を調べる。	・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。		
B-1-6 生物育成の技術の工夫を読み取ろう	1	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・食料の生産における問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。	
B-2-1 問題を発見し、課題を設定しよう	1	・家庭、学校、地域、社会における生物育成の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。		・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
B-2-2 生物の育成計画を立てよう	1	・生物を育てる目的を考え、生物の成長に合わせた育成計画を立てる。 ・(作物の栽培の場合)作物やその品種に応じた育て方を調べ、栽培計画表にまとめる。		・育成する作物に適した環境条件について考えている。 ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。	
B-2-3 成長段階に合わせて適切に育成しよう	1	・安全に配慮し、成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う。 ・管理作業の内容を、栽培記録表にまとめる。	・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。		・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
B-2-4 問題解決の評価、改善・修正	1	・生物育成の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。		・育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
B-3-1 生物育成の技術の最適化	1	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 ・生物育成の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。	・生物育成の技術の概念について理解している。	・生物育成の技術の最適化について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。

B-3-2 これからの生物育成の技術	1	・持続可能な社会の構築のために、これからの生物育成の技術について考える。		・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	
D-2-1 双方向性のあるコンテンツとは何だろう	1	・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べる。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。		・主体的に情報の技術について考えようとしている。
D-2-2 問題を発見し、課題を設定しよう	1	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。		・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
D-2-3 コンテンツを構想しよう	1	・問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。		・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法、コンテンツを構想する力を身に付けている。	
D-2-4 コンテンツのプログラムを制作しよう	2	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作する。	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。	・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。	・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。
D-2-5 問題解決の評価、改善・修正	1	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。		・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。